

第144回 伊丹市内企業の景気動向調査

本所では、伊丹市内企業の景気動向を把握するため、四半期ごとに標記調査を実施しているが、このほど、第144回調査の結果を取りまとめた。本調査時点は1月下旬、調査対象期間は平成28年10月～12月期、景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較してもらった。

今回の調査結果（回答76社）によると平成28年10月～12月の景気実績は「上昇」回答13.2%（前回6.5%）、「下降」回答15.8%（前回36.4%）、景気見通しは、「上昇」回答14.5%（前回5.2%）、「下降」回答17.1%（前回32.5%）となった。人材確保のための対策については下記の通り。

〔景気動向について〕

業界の景気

	上 昇		横ばい		下 降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	11.5	3.2	80.8	64.5	7.7	32.3
食料品工業	12.5	10.0	62.5	70.0	25.0	20.0
商 業	0.0	0.0	54.5	27.3	45.5	72.7
建 設 業	18.2	20.0	72.7	50.0	9.1	30.0
運 輸 業	22.2	11.1	77.8	55.6	0.0	33.3
サービス業	18.2	0.0	63.6	66.7	18.2	33.3
全 業 種	13.2	6.5	71.1	57.1	15.8	36.4

今後の景気の見通し

	上 昇		横ばい		下 降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	15.4	6.5	80.8	71.0	3.8	22.6
食料品工業	12.5	10.0	62.5	70.0	25.0	20.0
商 業	0.0	0.0	54.5	27.3	45.5	72.7
建 設 業	18.2	10.0	72.7	60.0	9.1	30.0
運 輸 業	22.2	0.0	66.7	66.7	11.1	33.3
サービス業	18.2	0.0	54.5	66.7	27.3	33.3
全 業 種	14.5	5.2	68.4	62.3	17.1	32.5

人材確保のための対策 ※複数回答可

	1	2	3	4	5	6	7	8
一般工業	26.9	23.1	26.9	19.2	11.5	19.2	0.0	34.6
食料品工業	87.5	50.0	12.5	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5
商 業	27.3	9.1	9.1	9.1	18.2	18.2	9.1	36.4
建 設 業	45.5	36.4	27.3	27.3	9.1	0.0	27.3	36.4
運 輸 業	44.4	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3
サービス業	45.5	45.5	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	36.4
全 業 種	40.8	27.6	21.1	18.4	9.2	11.8	7.9	32.9

〔回答企業の業種別分布〕

業 種 項 目	対象数 (社)	回答数 (社)	回答率 (%)	構成比 (%)
一般工業	50	26	52.0	34.2
食料品工業	20	8	40.0	10.5
商 業	20	11	55.0	14.5
建 設 業	20	11	55.0	14.5
運 輸 業	20	9	45.0	11.8
サービス業	20	11	55.0	14.5
全 業 種	150	76	50.6	100.0

〔産業別業況DI値〕

	業 況	売 上	採 算	仕入単価	従業員
一般工業	0.0	3.8	3.8	▲38.5	26.9
食料品工業	▲25.0	▲37.5	▲12.5	▲12.5	37.5
商 業	▲18.2	▲36.4	▲27.3	▲72.7	18.2
建 設 業	9.1	0.0	0.0	▲45.5	81.8
運 輸 業	▲11.1	0.0	0.0	▲77.8	33.3
サービス業	0.0	9.1	0.0	▲27.3	18.2
全 業 種	▲5.3	▲6.6	▲3.9	▲44.7	34.2

(注) DI=(増加、好転などの回答割合) - (減少、悪化などの回答割合)
業況、採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

1. 募集回数を増やす
2. 募集期間を延ばす
3. 採用条件（年齢制限、スキル・経験）を緩和する
4. 給与額を上げる
5. 勤務時間・日数の条件を緩和する
6. 非正規社員の正社員化を検討する
7. 福利厚生を見直す
8. 特に何もしていない

その他対策案等 ※一部抜粋

ハローワーク以外の人材紹介会社の利用
SNS等、ネット利用の求人媒体の活用
女性活躍を推進している。

その他ご意見等 ※一部抜粋

企業説明会等、伊丹の企業と求職者を繋げる有効的な機をつかってほしい。
異業種間での交流を重ね、経済拡大へと繋げたい。
円安で海外開発品のコストが上昇した。
発注先の量が増加傾向にある。